

みんなに知ってほしい！湖西市の…

地

域

ね

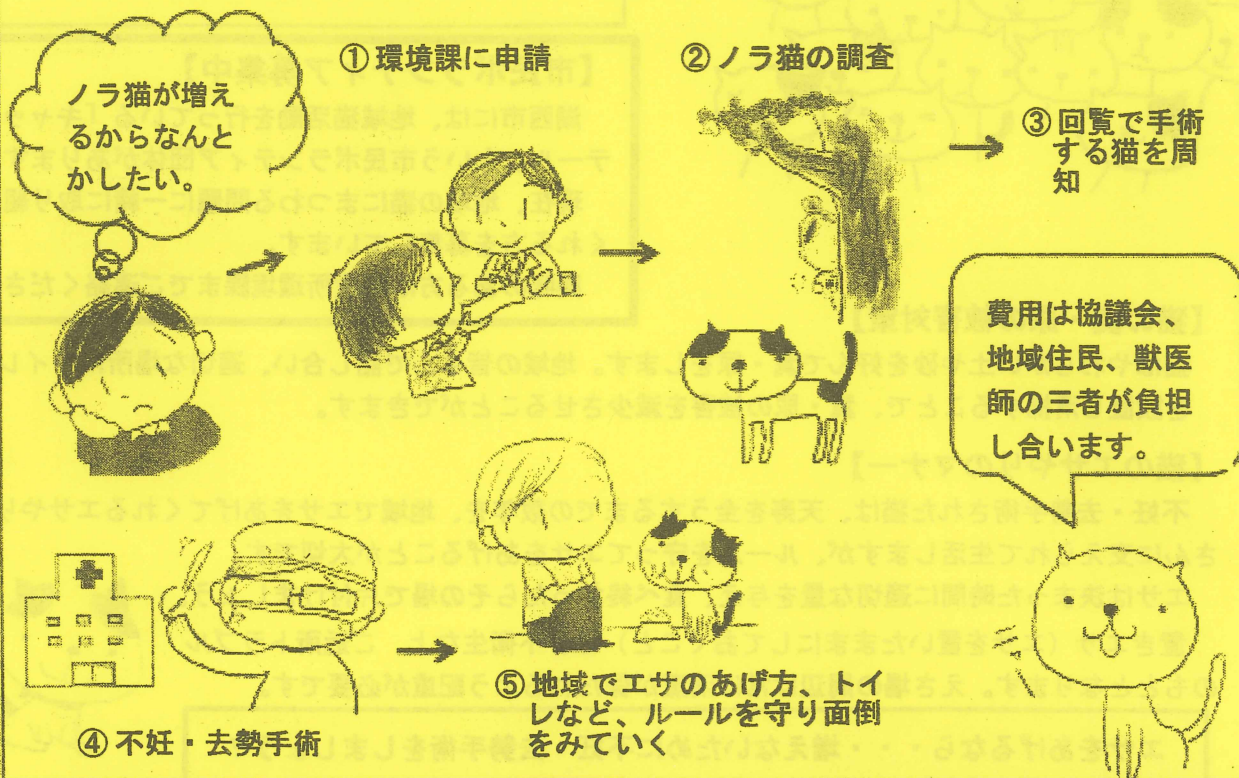
こ

活

動

【湖西市の地域ねこ活動とは？】

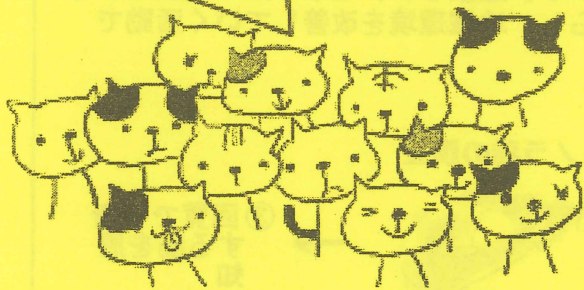
地域にいる飼い主のいない猫の問題を、湖西市野良猫対策協議会が中心となり、市民・協力獣医師の三者間で連携し解決を目指すことで、人と猫とが共生する地域を構築するという考え方です。具体的には猫の繁殖や、トイレの問題、エサ、遺棄など、地域で適正に管理することにより、飼い主のいない猫によるトラブルを減らし、地域環境を改善していく活動です。



地域にいる飼い主のいない猫に不妊・去勢手術を行えば、だんだんと数が減っていきます。また、手術をすることにより性質がおとなしくなり、発情期の鳴き声や強烈な尿の臭気もなくなります。地域ねこ活動で不妊・去勢手術をした猫は、手術をした印として、耳を桜の花びらのようにカットします。

猫は、ある計算式によれば、1頭のメス猫、オス猫から1年半後に約54頭に増えるといわれています。

(メス猫は6～8ヶ月で仔猫を産めるようになり、年に2～4回出産し、1度に4～8頭の仔猫が産まれます)しかし、飼い主がいない猫の生活環境はあまり良くありません。産まれてもカラスやタヌキなどの動物に食べられたり、病気や交通事故などで多くの命が消えてゆき、寿命を全うできる猫は多くありません。

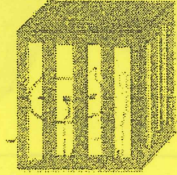
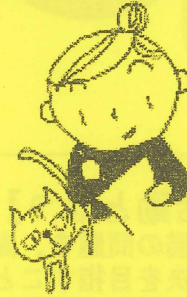


＜湖西市野良猫対策協議会＞

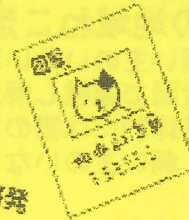
湖西市・市民ボランティア・獣医師有志が、湖西市内における飼い主のいない猫の問題に、協働で対処するために設立した協議会です。協議会の活動や、協議会加入に興味のある方はご連絡ください。協議会の事務局は市役所環境課内にあります。

ねこの調査

ねこの捕獲



エサのあげ方の啓発



地域ねこ活動の啓発

【市民ボランティア募集中】

湖西市には、地域猫活動を行っている「キャッツテール」という市民ボランティア団体があります。現在、地域の猫にまつわる問題と一緒に取り組んでくれる方を募集しています。興味のある方は市役所環境課までご連絡ください。

【猫の糞・尿の被害対策】

猫はやわらかい土や砂を好んで糞・尿をします。地域の皆さんで話し合い、適切な場所にトイレを設置し清掃することで、糞・尿の被害を減少させることができます。

【猫のエサやりのマナー】

不妊・去勢手術された猫は、天寿を全うするまでの数年を、地域でエサをあげてくれるエサやりさんに支えられて生活しますが、ルールを守ってエサをあげることが大切です。

エサは決まった時間に適切な量を与え、食べ終わったらその場で片付けましょう。

置きエサ(エサを置いたままにしておくこと)は、不衛生な上、ご近所トラブルのもととなります。えさ場の周辺は常に清潔が保たれるよう配慮が必要です。



エサをあげるなら・・・増えないために不妊・去勢手術をしましょう！

飼い主のいない猫の不妊・去勢手術をせずにエサを与え続けると、不幸な仔猫が産まれてしまいます。産まれても満足に育つのは数えるほどで、多くの命が犠牲になってしまいます。

かわいそうだけど、エサをあげるだけの行為は、猫にとって優しい行為ではありません。

【遺棄「捨て猫」は犯罪です】

動物愛護法では、愛護動物の遺棄(捨て猫)は、1年以下の懲役又は罰金100万円以下の犯罪行為となります。捨て猫を見かけたり、捨て猫の情報を知っている場合は、警察に連絡してください。

なお、市役所では野良猫の引き取りは行っておりません。むやみに、野良猫の仔猫を捕まえて持ち込むことはご遠慮ください。

地域ねこ活動についての問い合わせは環境課へ(053-576-4533)